

厚真町地域おこし協力隊

農業支援員  
郷野 晃慈さん(37歳)  
着 任▽令和2年4月(1年目)  
出身地▽札幌市



一着任から半年が過ぎましたがいかがですか

私を含め、同期生は3人で、皆、活  
力にあふれています。目指す農業はそ  
れぞれ異なりますが、互いに刺激を受  
けながら仲良く過ごしています。「も  
う半年」という印象ですね。特に、こ  
の2カ月は早く感じます。

厚真町には縁があったみたいですね  
祖父が町内に居ます。小さいころ、  
よく遊びに行きました。自然が好きで、  
祖父も農家でしたから、幼心に「農業  
もいいな」と思っていました。高校中  
退後、しばらく落ち着かなかったので  
すが、23歳でITの資格を取り、神奈  
川県座間市のIT企業で10年間、サー  
バー管理の仕事をしました。

しかし、「農業」がしたいという気  
持ちにかられて退職。札幌に戻って2  
年間、野菜の自然栽培のノウハウを学  
び、販路拡大なども経験しました。「他  
の地域でも学びたい」と思う中、サー  
フィンに訪れていた厚真町で協力隊員  
を募集していることを知り、すぐに応  
募しました。

一どのような将来設計を考えています  
まずは、3年間の任期中にしっかりと

営農技術を身に付けたいと思っていま  
す。独立時には、できるだけ初期投資  
を抑え、ホウレンソウを主力作物にし  
たいと考えています。数年かけてアス  
パラやハスカップなども栽培し、生計  
を安定させたいですね。将来的には、  
野菜の無農薬栽培にも挑戦し、消費者  
に顔が見える農家を目指します。来年  
から、少しずつ独立に向けた準備を始  
めるつもりです。

描く農家像とは  
指導員さんや経験豊富な農家の方な  
どから、アドバイスを受けて奥深い農  
業を勉強しています。覚えれば覚える  
ほど、作物の成長に反映され、自信が  
生まれます。やりがいのある仕事です。  
作物を通じて人が立ち寄る農家が理想  
です。生産地でなければ食べられない  
野菜など、消費者が町内を巡るような  
仕掛けができないか考えています。

例えば、浜厚真海浜公園には、年間  
約6万人がサーフィンに訪れるとい  
います。大半が札幌からで、サーフィン  
を終えるとそのまま戻るので、非常  
にもったいないですね。立ち寄って  
もらうためにはどうしたら良いか。時間  
をかけて、構想を練っていきたく  
いです。

が目的です。受講した全校生徒は、  
改めて、交通ルールを守り交通マ  
ナーを高めることが交通事故の未  
然防止につながると理解を深めま  
した。交通安全の意識の高揚を図  
る有意義な時間になりました。



Vol.250

厚高インフォメーション  
Atsuma High school Information



学校の取り組みをご覧ください。  
厚真高校ホームページ  
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

給食導入から1年たちました  
昨年8月から、町学校給食セン  
ターのご協力により、給食を導入  
して1年が経過しました。毎日の  
昼休みに、出来たてで温かく、お  
いしい給食をいただいております。  
生徒からも好評です。

前期期末考査  
(8月27日～9月1日)  
前期の総まとめ期末考査が、4  
日間行われました。日ごろの学習

の成果が発揮できたでしょうか。  
継続は力なり。日々の積み重ねが  
大事です。生きるとは学ぶこと、  
学ぶことが生きることにつながり  
ます。常に学び続ける人であって  
ほしいものです。

2学年職場体験学習オリエン  
テーション(9月10日)

9月10日(月)～12日(水)の3日  
間、町内6カ所で生徒を受け入れ  
ていただき、職場体験学習が実施  
できることになりました。大変あ  
りがたい限りです。各事業所にお  
ける体験学習を通して、労働の喜  
びや厳しさを学ぶことにより、自  
己の能力・適性を知ることができ  
ます。また、町の事業所について  
理解し、地域社会との連携を深め  
ながら社会生活に適応した望まし  
い職業観・勤労観の育成につなげ  
ることができると、今後の人生  
に役立つ貴重な時間になります。  
町のみならず、お世話になります。

交通安全教室(9月11日)  
苫小牧警察署の石田基交通企画  
係長を講師に招いた「交通安全教  
室」を開きました。交通安全の知  
識を身につけ、命の尊さを学ぶの

放課後、遠隔機器を活用し、生  
徒会執行部の活動内容などにつ  
いて、佐呂間高校生徒会と情報交換  
や意見交流を行いました。互いの  
学校の紹介に続き、コロナ禍での  
学校生活や生徒会活動の様子につ  
いてお互いに説明しました。また、  
今年度の学校祭などの学校行事に  
ついて意見交換することができ  
き、充実した交流ができました。



全校集会 (8月20日)

短歌

幹太きやちだもの林一枚の葉も残さず初冬に向ふ  
いつの間に早苗黄金に色付きて厚真の秋は輝いている  
鎮座せるピアノで「ふるさと」娘が弾きてわれが別離のビデオを撮りをり

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十四号」から抜粋

本町 飛谷富夫  
豊 濱厚真 山田志津  
沢 石橋道子

発表します!!

将来の夢&目標

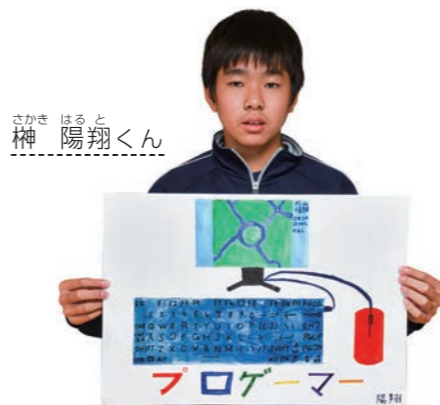
上厚真小学校6年



永井たんぽぽさん



北島 未聖さん



さかき 陽翔くん



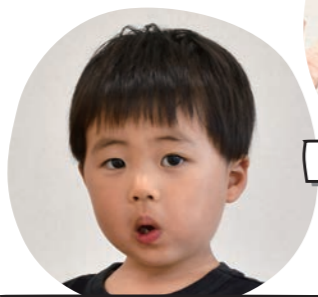
こむかい 彩さん



きくち 彩楓さん

まちの★  
アイドル

3歳以下のお子さんの写真を  
募集しています。住所、氏名(ふ  
りがな)、生年月日、性別、両  
親の氏名(ふりがな)、電話番  
号を明記の上、まちづくり推  
進課企画調整グループへ。  
<メール>  
kikaku@town.atsuma.lg.jp



おおはま えいたくん(3)



おがた じょうくん(3)



きもと そうたくん(3)